



## つながりの中で



副校長 中川 清志

新緑が目にも美しい季節となりました。爽やかな風に若葉が揺れ、子どもたちの登校する足取りも、どこか軽やかに感じられます。新年度が始まって1か月。子どもたちは新しい学年や学級に少しずつ慣れ、それぞれの場所で、自分なりの一歩を踏み出しています。

着任して間もない私自身、まだまだ日々発見や驚きの連続です。その驚きのひとつが、学校に関わっていらっしゃる方の多さです。4月1日の初日から、地域の様々な方や多くのPTAの方が学校を訪ねてくださり、お話を聞かせて下さいました。猿楽小学校の子どもたちのこと、金山交流活動も含む本校の歴史に関すること、地域の行事に関わることなど、内容も様々です。様々ではありますが、そこには共通する想い、そして熱のようなものを感じ取ることができました。猿楽小学校の子どもたちをととても大切に思っていること、そしてその子どもたちが通う猿楽小学校を、愛して下さっている想いです。

学校の教育活動は、教職員だけで成り立っているものではありません。行事等を支えてくださる地域の皆様、保護者の皆様や登下校を見守ってくださる方々など、多くの方々の温かい関わりに支えられ、日々の学校生活が営まれています。子どもたちは、そういったたくさんの大人たちの姿を通して、「地域の中で育てられている自分」を自然に感じ取っているように思います。

さて、5月16日の学校公開日には、本校創立110周年を記念して、児童が企画した集会が行われます。続く3時間目は公開授業があり、4時間目にはPTA主催の「110周年バルーンリリース（風船飛ばし）」も予定されています。児童の願いや思いをしたためたカードをつけた風船が、青空へと放たれる予定です。今年度は、運動会など行事名称についても、『110周年』を冠した名称とし、11月には記念式典も予定しています。長い年月にわたり、この学校が地域と共に歩んできたこと、そしてこれからも地域とともに歩み続けていくことを、子どもたちと改めて確かめる機会にしたいと考えています。

さらにその翌日17日には、地域のお祭り「えびすふれあい広場」に子どもたちが参加し、太鼓やダンスを披露する予定です。仲間と心を一つにし、地域の皆様の前で発表する経験は、子どもたちにとって大きな自信となることと思います。また、夜には“学校の校庭が映画館になる”猿楽小110周年記念「さるがく☆ほしぞら映画祭」も企画していただいています。子どもたちの忘れられない思い出になることと思います。

学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの成長を支える——その姿が、今月の行事を通して、より一層実感できることを願っています。地域の皆様、保護者の皆様、子どもたちのため、本校の110周年に関連してご尽力いただきまして本当にありがとうございます。これからも、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

### 《5月の生活目標》

#### 友達と仲良くしよう

- 仲良く遊ぼう
- 友達をふやそう
- 遊びのきまりを守ろう
- 遊び道具を片付けよう

